

令和6年2月26日

足立区立千寿桜堤中学校
学校長 齋藤 由美子 様

足立区立千寿桜堤中学校
開かれた学校づくり協議会

令和5年度 学校関係者評価書

1 自己評価書全般について

- ① 年度当初の目標設定と実行結果に対する自己評価がわかり易くまとめられており、自己評価は適切である。
- ② 学力については、区調査ではどの学年もすべての教科で正答率・通過率ともに区平均・全国平均を上回っており、学習の定着に向けた成果が表れている。また、足立区連合英語学芸会のスピーチ部門での2年生の優勝、3年生のESAT-Jでの75%以上の生徒のAまたはBという結果、英検での2級に10名、準2級に23名、3級に50名合格など高いレベルであることが確認できた。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について 「課題」

- ① 区調査アンケートで、「学校での授業はわかる」の項目は、昨年度よりも「+2.4」で授業改善がみられたが、「勉強が好きだ」の項目が「-3.9」となっており勉強に対して前向きに取り組むことができるようにすることを望む。

「保護者・地域への期待」

- ① 夏休み中に学校と地域で「防災まちづくり」として意見交換を行い、防災への意識を高めたところであるが、能登半島地震もあり、さらなる防災への意識の向上と地元地域との情報共有及び連携強化を切に望む。

3 その他

- ① 陸上部の全国大会の出場の際には、地域全体で生徒を応援することができ地域の活性化につながる出来事であった。
- ② Google 本社訪問、明海大学留学生との英語での交流、秋田県大仙市へ教員を派遣するなど、新しい取組も積極的に推進していることが確認できた。
- ③ 次年度は、いよいよ創立20周年となる。地域と学校が連携しながら、記念事業実行委員会を進め、さらなる学校の発展を期待する。